

## 情 報 公 開 文 書

研究の名称	産後うつを伴わないボンディング障害の発生頻度と要因～エコチル調査より～
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	学術研究部医学系・母性看護学講座教授 長谷川 ともみ
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> エコチル調査参加に同意された方とお子さま 104,059 組</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 産後うつ病を伴わないボンディング障害の予測変数を明らかにすることで、予防や早期発見につながり、支援していく対象者(母子)が明確になります。また、これまで一括りにされてきたボンディング障害を2種類(Anger &amp; RejectionとLack of Affection)に分けて分析することにより、それぞれの特徴や背景が明らかとなることが期待できます。また、日本国内でのボンディング障害発生頻度を明らかにすることで、社会的支援がどの程度必要なのかを算出する基盤データとなります。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 出産前から出産時にかけてご回答いただいた質問票の回答およびカルテ転記に基づくデータセットに基づき解析を行います。本研究のための新たな情報収集は行いません。</p> <p><b>【研究期間】</b> 実施許可日 ～ 2026(令和8年)年3月31日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 本研究の成果は、関連する学会や学術雑誌で発表されます。なお、本研究の実施に際しては、利用する情報からお名前、住所などの個人情報情報は削除いたします。研究成果の発表においても個人情報は利用しません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>エコチル調査質問票から得られた以下の情報を用います。</p> <p><b>【母体年齢・経産回数・学歴・婚姻状況・仕事・世帯収入・授乳方法・授乳期間・児の性別・在胎週数・妊娠に対するネガティブな気持ち・母親の精神疾患の既往・母親の喫煙状況・n-3 脂肪酸摂取状況・先天性疾患の有無・流産死産経験・配偶者からの暴力・母親の飲酒・産科合併症・母子同室・早期授乳・早期皮膚接触・分娩様式・ペットの飼育・不妊治療・無痛分娩・自分に対する無価値観・家族構成・母親のBMI・つわり症状・胎動を感じる頻度・地域ソーシャルキャピタル・何をやっても泣き止まない経験があるか・ソーシャルサポート・多胎妊娠・運動習慣等】</b></p> <p>上記情報項目を他機関へ提供することはありません。</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学長 齋藤 滋
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者 (研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学 学術研究部 医学系 母性看護学講座 長谷川 ともみ
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話:076-415-8842 FAX:076-415-8843 E-mail:ecojimu@med.u-toyama.ac.jp 富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座 助教 土田暁子</p>